

令和7年度

大地震が発生した場合の対応

＜ 岩谷小学校職員室：65-2220 大内駐在所：65-2209 休日や夜間の緊急連絡先（教頭）：070-1144-0726＞ 由利本荘市立岩谷小学校

震 度	震 度 4	震 度 5 弱 ・ 強	震 度 6 以上
体感・行動	・ほとんどの人が驚く。 ・眠っている人の大半が目を覚ます。	弱：大半の人が恐怖を覚え、物につかまろうとする。 強：物につかまらなと歩くことが難しい。	弱：立っていることが困難になる。 強・震度7：歩行が困難になり、這わないと動けない。
屋内の状況	・電灯が大きく揺れる。 ・棚にある食器類が音を立てる。	弱：電灯が激しく揺れ、食器類が落ちることがある。 強：食器類や本が多く落ちる。	弱：固定していない家具の大半が移動する。 強・震度7：固定していない家具が移動または倒れる。
屋外の状況	・電線が大きく揺れる。 ・車を運転していて揺れに気づく人がいる。	弱：電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が出る。 強：窓ガラスが割れ、車の運転が困難になる。	弱：壁のタイル、窓ガラスが割れ、落下することがある。 強・震度7：建物が倒れるものが多くなる。
登 校 前	○保護者が安全を確認してください。(停電の可能性あり) ○保護者が安全を確認してください。(停電の可能性大) ○臨時休校とします。保護者の指示に従ってください。 ・町内によっては、安全な場所へ避難する場合があります。 ☆地震の震度に関係なく、午前6時の時点で地域全体が停電の場合は、連絡がなくても臨時休校とします。 ☆メールシステムが使用できる場合は、午前6時前後に緊急メールで休校等の連絡をします。 ☆メールが届かない場合でも、自宅付近の状況によっては、保護者の判断で児童を自宅待機、または避難をさせてください。 (行政機関等から避難指示が出される場合もあるため、その場合には指示に従ってください。)		
登 校 中	○安全な場所にすぐ避難してください。 ・歩行中は、ブロック塀などの倒れそうなものから離れる。(車、土砂崩れにも注意) ・かばんや持ち物で自分の頭を保護し、「近くて安全な場所」にしゃがむ。 ○揺れがおさまったら、 ・近くの大人、上級生の言うことをよく聞いて、安全な場所へ避難してください。 ・学校に近い場合は、学校に向かいます。 ・自宅に近い場合は、自宅に戻ります。→ 帰宅し電話が使用できる場合は、学校に電話し、所在を伝えてください。 ○バスに乗車中の場合は、運転手の指示に従います。(運行が打ち切りになる場合も考えられます。その場合は、運転手を通じて自宅か学校に連絡があります。)		
在 校 時	○授業中 ・机の下に避難→二次避難(グラウンド)→安全確認、情報収集→授業再開の可否(または下校) ○休み時間中 ・ガラスから離れ、物が倒れてこない場所、落ちてこない場所に頭部を保護してしゃがむ。→放送で、または職員が指示→二次避難→以下授業中と同じ ○給食時間中 ・食缶のふたを閉め、床に置く。テーブルの下に避難→職員が指示→二次避難→以下授業中と同じ		
下校体制	○安全を確認後、通常通り下校します。 バスが運行不能となった場合には、学校に迎えをお願いすることがあります。 ○強い余震が予想されるため、原則として、学校に待機させ、保護者へ引き渡します。 お迎えをお願いする緊急メールを送ります。その際には、家庭調査票に記入されている家族の方へのみ引き渡しをします。家が近くだからといって、一緒に連れ帰ることはできません。学校が避難所になった場合や自宅が危険な場合などには、そのまま学校に待機(避難)する場合があります。		
下 校 中	○安全な場所にすぐ避難してください。 ・歩行中は、ブロック塀などの倒れそうなものから離れる。(車、土砂崩れにも注意) ・かばんや持ち物で自分の頭を保護し、「近くて安全な場所」にしゃがむ。 ○揺れがおさまったら、 ・近くの大人、上級生の言うことをよく聞いて、安全な場所へ避難してください。 ・学校に近い場合は、学校に戻ります。 ・自宅に近い場合は、自宅に戻ります。→ 帰宅し電話が使用できる場合は、学校に電話し、所在を伝えてください。 ○バスに乗車中の場合は、運転手の指示に従います。途中で運行不能になった場合には、運転手が学校または保護者に連絡し、その場にとどまって迎えを待ちます。		